別表（第４の４－１の（13）別記様式第５－１号関係）

水産業強化支援事業事後評価報告書

富山県農林水産総合技術センター
水産研究所

政策目的			水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標			資源増養殖目標	
事業実施主体			富山県農林水産総合技術センター水産研究所	
実施地区名			富山県	
実施期間及び目標年度			実施期間	目標年度
			令和７年度	令和７年度
交付金額			500 千円	
事業計画の内容			海域におけるアユ仔魚の分布状況を把握する。	
評価	成果目標		海域における調査回数	
		現状値	６（令和７年度末時点）	
		目標値	６（令和７年度末）	
	（１）現状値の説明		滑川市常磐町地先において，採集調査を 6 回実施した。渚域調査において,令和 7 年度は令和 5 年度と同時期（12 月上旬）にピークがみられ,採捕尾数は令和 5 年度の約 2 倍であった。	
	（２）地域への経済効果(ハード事業のみ)		該当なし	
	（３）資源管理の取組状況等(ハード事業のみ)		該当なし	
	（４）所見		令和６年度とは異なる時期に、アユ仔魚の採捕ピークが確認された。	
	（５）評価機関の意見等		評価機関なし	
今後の改善方向等に関する分析			調査を継続することで、アユ遡上量予測の精度向上が期待される。	

別表（第４の４－１の（13）別記様式第５－１号関係）

水産業強化支援事業事後評価報告書

黒部川内水面漁業協同組合

政策目的			水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標			資源増養殖目標	
事業実施主体			黒部川内水面漁業協同組合	
実施地区名			富山県	
実施期間及び目標年度			実施期間	目標年度
			令和７年度	令和７年度
交付金額			150 千円	
事業計画の内容			黒部川におけるアユ及びサクラマスの遡上状況を把握する。	
評価	成果目標		遡上状況の調査回数	
		現状値	４（令和７年度末時点）※サクラマス４回	
		目標値	４（令和７年度末）	
	（１）現状値の説明		アユの採捕調査時期は交付金の交付決定前であったため、自己負担での実施とした。４月から５月にかけて投網により実施し、313 尾を採捕した。サクラマスの遡上状況調査は６月から８月にかけて合計４回、投網・流し網により実施し、20 尾を採捕した。うち１回は採捕がなかった。	
	（２）地域への経済効果(ハード事業のみ)		該当なし	
	（３）資源管理の取組状況等(ハード事業のみ)		該当なし	
	（４）所見		アユの遡上量は５月にピークを迎えた。魚体は遡上初期が最も大きく、その後徐々に小型化した。なお、アユ及びサクラマスの採捕量は令和６年と比較し少なかった。	
	（５）評価機関の意見等		評価機関なし	
今後の改善方向等に関する分析			アユ、サクラマスの遡上量の把握を継続していくことで、今後の放流時期・場所の選定や漁場環境維持につなげ、資源回復と漁獲量向上を図る。	